



中藤っ子

LOVERS

令和6年度 No. 8
福井市中藤小学校だより
発行日 令和6年11月29日(木)
〒910-0837 福井市高柳3-3001
TEL:54-3823 FAX:54-3874

今年もあと1ヶ月 笑顔で過ごそう…

今年も残すところ、あと1ヶ月となりました。「光陰矢のごとく」時の過ぎるのは早いものです。今年は、辰年でした。正確には「甲辰(きのえたつ)」といって、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年であるとされてきました。今年をふり返り、皆さんにとって、どんな1年だったでしょうか。

さて、先日の全校朝礼では「笑顔の勧め」の話をしました。笑顔でいることには、からだの免疫を高めたり、心をリラックスさせたり自信をもたせたり、考える力をアップさせたり、交友関係を広げたりするような「幸せ」効果があるそうです。そして、「つくり笑顔」でも脳が勘違いして同じ効果をもたらすそうです。「笑う“顔”には福来たる」として、笑みを絶やさず過ごせるように心がけたいところです。ご家庭でもお子様への温かい励ましやお声かけをお願いします。今年一年、ありがとうございました。

(文責：勝木)



ある日の出来事から

本物の文化を目と耳と心で確かめに…

～ 6年生修学旅行 ～

11月12日、まだ夜明け前、児童を乗せた4台のバスは、霧が立ちこめる北陸自動車道を一路京都を目指しました。京都では、タクシー運転手さんと面会し、それぞれ金閣寺や清水寺など見学地に出発しました。

次に向かったのは、奈良でした。鹿を前に集合写真を撮った後、奈良ガイドさんの案内で、南大門の仁王像や大仏殿の大仏を見学しました。仁王像は、筋肉隆々でとても迫力がありました。大仏殿の見学では、高さ15mの大仏が収まるように、高く大きく建てられていることがわかりました。

この日、最後に向かったのは、大阪でした。ホテルに荷物を運んだ後、海遊館へ出かけました。大型水槽で、悠々と泳ぐジンベイザメが印象的でした。ホテルに戻り、夕食を取って1日の予定を終えました。

2日目の朝も快晴でした。ビュッフェ方式で朝食を取った後、ホテルを出発し、USJに向かいました。本部のカフェを確認した後、児童はお目当てのアトラクションに向けて四方八方に跳んでいきました。途中、はぐれてしまった児童もいましたが、本部で班の子たちと無事再会して、活動を続けました。集合時刻が近くなるにつれて、目標に達したからののか、疲れたのか、本部のカフェで休息を取る班が増えていきました。

帰りに事故による渋滞に遭いましたが、予定どおりに活動は進み、みんな元気に帰校することができました。お迎えの保護者の皆様、ありがとうございました。



観てもらえるうれしさとともに…

～ 中藤小学校 教育ウィーク ～

11月19日から29日までの期間は、中藤小学校の教育ウィークでした。19、20日の3～4限目には授業参観が行われました。また、児童の給食の様子も参観していただきました。

この期間に各学年のマラソン大会が行われました。1年生のマラソン大会では、朝方ぐずついていた空模様も次第に晴れ、大会が始まる頃には暖かい日となりました。その中を、男女に分かれてスタートしました。児童は、たくさんの保護者の応援を受けながら、精一杯の力で走っていました。

期間中、たくさんの方に参観していただきました。ありがとうございました。



「寝る子は育つ」睡眠が大切なわけとは…

～ 学校保健委員会 ～

11月20日、学校保健委員会がありました。コロナ禍以降久しぶりの参集型開催です。児童は、「体すっきり 心にこころ 早寝早起き朝ごはんで つかめ！ハピネス」をテーマに、睡眠の大切さについて学びました。まず、保健委員会児童の寸劇を通して、本校の生活習慣の実態を知った上で、福井医療大学の先生から睡眠の大切さについて話を伺いました。

今後、「ハピネス週間」をもうけ、自宅での規則正しい生活についてカードを使ってチェックする予定です。



たくさんのお客さんが来られました

～全国特支研究大会 学校訪問～

11月22日、福井市を中心に開催された「全日本特別支援教育研究連盟全国大会」の学校見学会が行われ、文部科学省 特別支援教育調査官様をはじめ、全国から46名の先生方が本校を訪問しました。参加者は、学校紹介や本校の特別支援教育の説明の後、なかふじルームでの授業参観や校舎見学を行いました。特になかふじルームでの道徳に関心をもって参観していました。

また、同じ日に藤丸県教育長さんが学校訪問され、児童と給食をともにしました。この日のメニューは、若狭牛・ふくいポーク・県産小松菜が入った「ふくいSANOコロッケ」をはじめ、まいたけご飯、越前水菜のすまし汁、ミカンで、福井県産の食材をつかったものでした。教育長さんは、5年1組に入り、歓談しながら給食を召し上がっていました。また、児童は、新鮮で栄養たっぷりの地元の恵みを堪能していました。



生活に密着した体験を深めるために

～ なかふじルーム校外学習 ～

11月27日、なかふじルーム学級の児童が、自分で運賃を払って、市内バスに乗りし福井駅前に校外学習に出かけました。貨幣博物館では、興味のある展示に何度も足を運んだり、お金クイズに挑戦したりしていました。福井駅で北陸新幹線の発着を近距離で見学したり、セーレンプラネットで仲良くブース見学をしたりしていました。校外の慣れない環境で、一人一人がルールや時間を守ろうとがんばっていました。



素敵な歌の世界にいざなわれ…

～ PTA講演会 ～

11月29日、現在、ジャズダンスインストラクターでありミュージカルと声楽の二刀流歌手として活動している増田朱紀さんを講師に、「増田朱紀先生と素敵な歌の世界へ」と題したPTA講演会が開かれました。増田先生は、本校出身で、高校在学中に劇団四季のオーディションに最年少で合格し、「ユタと不思議な仲間たち」「キャッツ」等出演されました。退団後は、東京学芸大学教育学部音楽専攻に進学し声楽を学び直された経歴をお持ちです。講演会前半では、「ライオンキング」や「オーソレミオ」、児童の伴奏による「Let it go」等の歌を交えながら、これまでの経験や想いが語られました。後半は、劇団四季で行っていたトレーニング法の紹介がありました。児童は、呼吸法や発声について挑戦していました。最後に、児童の伴奏で「音楽のおくりもの」を全員合唱しました。体育館にみんなの歌声が響きました。

先生の美しい歌声とともに、先生が語った「夢をもって、努力を続ける」というメッセージは、児童の心に確かに刻まれたと思います。



校長室から

～教職員による不祥事について考える～

今年に入り、教員による不祥事がたびたびニュースとなり、学校教育に対する信頼を著しく損ないました。

人格形成上極めて重要な時期にある児童生徒を指導し、社会規範を教授する崇高な使命をもつ教員自らが、このような事件を起こすことは断じて許されるものではありません。また、ひとたびこのような事件を起こした場合、極めて厳しい批判を受ける立場にあり、さらに円滑な学校運営にも支障が生じることを肝に銘じなくてはなりません。

私は、不祥事を防止するためには、第一に自分事として考える想像力や明るく風通しのよい職場づくり、人を裏切らないという連帯感と信頼感の醸成が大切だと考えています。(5/8 不祥事防止研修の様子)

今後、児童・保護者・地域の方々から信頼される学校づくりに取り組んでいく所存です。

